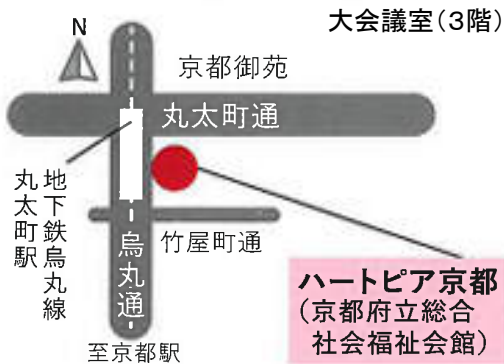


とき／**5.18(日)**  
2025. 午後2時～4時30分  
会場／**ハートピア京都**

京都市中京区竹屋町通烏丸東入る  
地下鉄丸太町駅5番出口



レイチェル・カーソン(1907～1964)

アメリカの海洋生物学者。化学物質による環境汚染についていち早く警告した。彼女の著書『沈黙の春』『センス・オブ・ワンダー』はいまも読みつがれている。

# 『センス・オブ・ワンダー』出版60年記念 レイチェル・カーソンのつどい2025

## プログラム

### ●開会

#### 報告1

レイチェル・カーソンの  
「センス・オブ・ワンダー」

浅井千晶 (千里金蘭大学教授)

#### 報告2

宮沢賢治の  
「センス・オブ・ワンダー」

鵜野祐介 (立命館大学教授)

#### 報告3

新美南吉の  
「センス・オブ・ワンダー」

遠山光嗣 (新美南吉記念館館長)

### ●意見交換

### ●閉会

参加費／1,000円 定員／200名

申込は下記メール又はFAXへ 〆切5月10日(土)

主催：レイチェル・カーソン日本協会関西フォーラム  
連絡先：TEL/FAX：075-354-6637 メール：jrcc-thara@ab.wakwak.com

協力：NPO法人コンシューマーズ京都、京都府地球温暖化防止活動推進センター  
京都市ごみ減量推進会議、気候ネットワーク、京都循環経済研究所

人間だけの世界ではない。  
動物も植物も一緒に住んでいるのだ。

2025年は、レイチェル・カーソンの『センス・オブ・ワンダー』出版60年にあたります。

この機会に「センス・オブ・ワンダー」の意味について様々な角度から考え、理解を深め合うことにします。